

木之下晃 音楽写真展



ヘルベルト・フォン・カラヤン(指揮者)Herbert von Karajan 1988年4月30日 大阪ザ・シンフォニーホール

音楽を写し撮ってきた木之下晃の写真展。
世界的ヴァイオリニスト・五嶋みどりや大阪フィルの創立名誉指揮者の朝比奈隆など
枚方ゆかりの音楽家のほか、カラヤン、坂本龍一など
時代を代表する演奏家の写真が一堂に会します。

歴史に残る 音楽家たちの 名演が蘇る



五嶋みどり(ヴァイオリニスト)MIDORI 1986年10月8日 ジュリアード音楽院



エマニュエル・パユ(フルーティスト)Emmanuel Pahud
2002年11月14日 すみだトリフォニーホール

主催 枚方市総合文化芸術センター 指定管理者
アートシティひらかた共同事業体
企画協力 株式会社木之下晃アーカイヴス

入場無料

2026年
1月14日(水)～19日(月)
10時～18時 ※最終日は16時まで

枚方市総合文化芸術センター
ひらしん美術ギャラリー



音楽写真

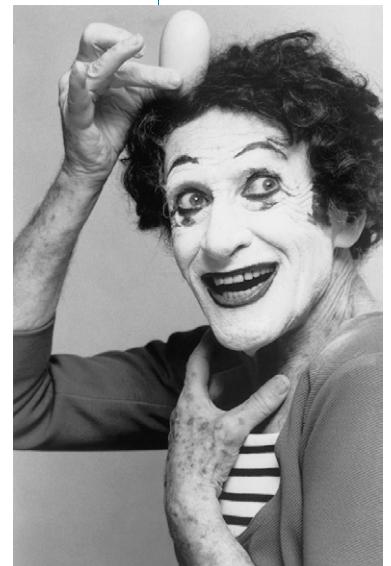
左 マリア・カラス
(ソプラノ歌手)
Maria Callas
1974年10月27日
東京文化会館

右 朝比奈隆
(指揮者)
Takashi Asahina
1996年4月6日
サントリーホール

石を聞く肖像

左 坂本龍一
(作曲家)
Ryuichi Sakamoto
2002#89178
Tokyu Bunkamura Studio

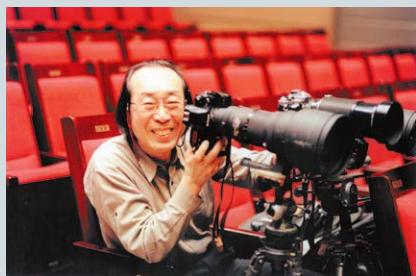
右 マルセル・マルソー
(パントマイム・アーティスト)
Marcel Marceau
1998年9月23日
ゆうばうと簡易保険ホール



1960年代から半世紀にわたり、一貫して『音楽を撮る』をテーマに撮影をしてきた木之下晃は、20世紀後半の著名なクラシック音楽家を最も多く撮影した写真家と云われています。ご覧いただくのは、代表作「世界の音楽家」シリーズ、芸術家たちの肖像写真「石を聞く肖像」シリーズに加え、写真家と縁が深かった五嶋みどり(枚方市出身)、朝比奈隆(大阪フィル創立名誉指揮者)の写真など、枚方市初開催の写真展にふさわしい展示となります。その他所蔵品やアーティストからのメッセージなど、多彩な展示を通して、木之下晃が表現した音の世界をお楽しみください。

註:アーティスト名等の日本語表記は、それぞれ発表当時の表記に準拠しております。

木之下 晃 Akira KINOSHITA



©三好英輔

1936年長野県生まれ。諱訪清陵高校、日本福祉大学卒業。中日新聞社、博報堂を経て写真家として独立。1960年代から『音楽を撮る』をテーマに撮影活動を続けた。フィルムでの撮影・現像に最期までこだわり「キノシタ・ブラック」と呼ばれたモノクローム作品は、「写真から音楽が聞こえる」と時代を代表する音楽家から高い評価を得ていた。写真集は『SEIJI OZAWA - 小澤征爾の世界』『世界の音楽家・全3巻』『巨匠カラヤン』『The MAESTROS』

『石を聞く肖像』等、約50冊上梓。開催した写真展は約100回。1971年日本写真協会賞新人賞、1985年第36回芸術選奨文部大臣賞、2005年日本写真協会賞作家賞、2008年新日鉄音楽賞特別賞を受賞。2006年紺綬褒章を受章。2009年～2015年日本福祉大学客員教授。2010年自身が撮影したフィルムを管理・保存する目的で「木之下晃アーカイブス」を設立。2015年1月12日、虚血性心不全のため死去。享年78。



お問い合わせ 枚方市総合文化芸術センター本館 <https://hirakata-arts.jp/>
072-845-4910 (休館日:第4火曜日※祝日を除く)
(※年末年始12月29日-1月3日)

枚方市総合文化芸術センター

〒573-1191 大阪府枚方市新町2丁目1番60号

○京阪電車「枚方市」駅から徒歩約5分

○駐車場(有料)の数に限りがあります。公共交通機関をご利用ください。